

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 3月 7日

公表: 令和 5年 3月 31日

事業所名 児童発達支援センター育つカ

		チェック項目	はい	いいえ	記入なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11			<ul style="list-style-type: none"> ・2クラスで共有しているスペースは同時に使用しないように時間配分をしている。 ・療育室・ホールなど療育・訓練をするのに十分な広さがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共用スペースは、上手く時間を配分して活用している状況なので、継続していきます。
	2	職員の配置数は適切である	6	5		<ul style="list-style-type: none"> ・早めに確認し、非常勤職員に出勤日の変更ができないか確認できると良い。 ・日によって少ないと感じることが多かった。日頃から余分にでも職員がいてもいいと思った。 ・その日の利用者数と出勤人数に応じて人員配置をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置に関しては、次年度より余裕を持たせた配置にする予定が決まっています。 ・子ども達の支援に必要な人員を十分確保した上で、人員に余裕を持たせるよう改善の予定です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11			<ul style="list-style-type: none"> 利用者の特性に応じて必要な配慮が違うため、クラス配置や利用者の増減によって随時検討と対応が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に、センター内環境は余分な刺激がないように工夫しており、階毎はバリアフリーの環境になっています。 ・ソフト面での対応も随時行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に換気をしたり、給食後はアレルギーのある子もいるため除菌スプレー等を使用しながら綺麗に清掃をしている。 ・整理整頓も心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃に関しては、その都度丁寧に行っていますので、継続して行っています。 ・環境設定に関しては、余分な刺激がないよう配慮して課題に集中できるように設定しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	4		<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンス等で行っている。 ・非常勤職員は難しい状況がある。 ・小さな事もやりっ放しにしないようにしているが、自己完結していることも多い。 ・話し合う時間が足りないため、もっと時間が取れると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と振り返りに関しては、クラス別・学年別に年間指導計画を設定しているので、計画に基づいて進捗管理を行っています。全体での共有が不十分にならないよう、次年度は共有時間を意図的に設定して行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に実施が義務付けられているため、ご意見を踏まえて次年度に反映させるようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2	2	詳しく把握していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表に関しましては、センターHPにて公開しておりますが、今年度よりキッズノートを使った公表も行います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・適切な第三者評価者がいないため、未実施の予定です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行なっているが、早めに行うと良いものがあるように思う。 ・行なっているが、時間を確保することが難しい。 ・週2回のカンファレンスや閉所日を利用して研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修としては、全体研修と週2日のカンファレンスにて実施しています。来年度以降は、時間を別に設けた研修・講義を随時行っていく予定です。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・主観的にならないよう、普段から他職員の意見を聞くようにしている。 ・管理者と話をしながら進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント(お子さんの状態把握)は専門職が行動観察を行い、先に繋がる課題設定を行っています。今後も変わらず継続します。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールの使用については、お子さんの状態の1側面を測るに留まってしまうため、複数の発達専門他職種による総合的評価を行っています。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	1	1	・見えやすい発達支援に目が行きがちになってしまう。	・個別の発達支援計画に関しては、本人の発達支援の他に地域支援も含んだ形で計画を立てさせていただいています。家族支援については明記はしていませんが、相談や家庭での困りごとに対して療育内で随時対応させてもらっていますので、遠慮なくお申し付けください。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	2		・職員全体で統一できていないと感じる。	・通所曜日毎に対して年間指導計画が策定されており、それに沿う形で個別の発達支援計画を反映させているため、可視化が不十分にならないよう職員間で共有を図っていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1		・1人で行わず、クラスの中で話す機会を持つようにしている。	・就学までの3～4か年計画の中の1年という位置づけで年度毎に立案していますので、全体共有をさらに進めていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	1		・月毎に課題内容を発達課題に合わせて進めていますので、プログラムの固定化はありません。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		1		・集団活動をベースに、その中で個別支援を実施させていただいている形式を取っているため、支援計画には併記の形で記載されています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	4		・特に切り替え時や変更がある場合は、支援内容の確認を行い、職員間で齟齬がないようにしている。 ・時間が不足する。 ・雇用形態によって行うことが難しいため、療育に入る前に個別に確認をしている。	・可能な限り事前打ち合わせを行っています。また、個別の対応が必要なものについては、クラス内だけでなく職員全体で確認をするようにしていますが、より徹底していきたいと思います。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	6		・必ずではない。 ・必ずではないが、なるべく話すようにしている。 ・個々の時間の使い方が揃っておらず、うまく配分できていない。 ・雇用形態によって行うことが難しいため、療育に入る前に個別に確認をしている。	・可能な限り実施するようにしていますが、預かり等の関係で行えない場合も生じてしまっています。 ・重要な内容に関しては、週2回のカンファレンスや朝礼時に確認等を行うようにし、振り返りが共有できる形を取っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1		・時間が不足する。	記録に関しては、必要な情報を過不足なく記載し、変化を追えるようにしています。
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1	1	・目標達成できているか、保護者はどう思っているか、もっと情報をうまく活用できると良い。	・支援計画については、長期目標と短期目標が記載されているので、お子さんの状況を見て常時課題設定を進捗に合わせて調整しています。
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		2	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1	3		・保健センター、子育て支援課と連携して支援を行っています。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	3	6		・現状、受け入れがないので特段行なっていませんが、必要な場合には連携をしていきます。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	3	6		・現状、受け入れがないので特段行なっていませんが、必要な場合には連携をしていきます。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10		2		・全ての園とではありませんが、情報共有をして一貫性のある支援を行えるようにしており、今後拡充していこうと思います。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8		4		・小学校に関しても、今後は密に連携を行っていく予定で、小学校との連絡会には昨年より参加しています。
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	5		・療育支援事業で他のセンターとも情報交換を行っています。 ・他事業所及びセンター等からの療育内容の見学が非常に多いため、応対をさせていただく中で勉強させていただいております。

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	4	1		・センター利用者のほとんどが園との並行通園のため、特別に設定しておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	3	1		・協議会には法人の長が参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11		1	・送迎時、両方保護者と会う機会が持てない場合は、ノートに一日の様子を書いたり保護者からの相談等にも返答し、連携を図っている。	・なるべく当日の様子は当日にお話をさせていただくようにしています。課題の達成や追加・変更等に関してもお話をさせていただくようにしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	9	2	1		・家族支援として、専門医の相談会を月1回実施しております。 ・ペアレントトレーニングに関しては、保護者様からの要望が一定数ありましたら実施させていただきます(月1回2時間程度の全12回コース)。改めてアンケートを実施させていただきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1	1		・利用契約の際に説明をさせていただいていますが、ご不明な点があればいつでもお尋ねください。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12				・個別支援計画につきましては、年2回の個人懇談の際に更新内容を確認させていただいております。 ・ご家族の希望に関しては、年1回書面にておうかがいしておりますが、何かご要望があれば随時お受けしていますのでお話しください。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1		・必要に応じて行っている。 ・相談に関して他職員に聞くことができる環境があった。 ・懇談の時間を設けたり、送迎の際に相談に乗っている。	・お子さんに関する相談は随時受け付けておりますので、ご質問や困り事があれば気軽にお話ししていただきたいと思います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	3	・懇談会を通じて行っている。	・父母の会に関しては現在開催をしておりません。 ・保護者様同士がお話しできる場としては、専門医相談と学年別懇談会を行っていますが、その他の交流機会を希望されれば検討したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11		1		・ご相談に関しては随時受け付けておりますので、可能な限り迅速に対応をさせていただいております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	3		・連絡体制としてはキッズノートを使用させていただいています。来年度は、年間予定表を年度初めに配布する事を決めています。 ・定期配信等による活動の報告に関しては後日検討し、ご連絡します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12			・個別指導計画のファイルなど、鍵の付いた書庫にしまひ保管している。	・個人情報に関しては、鍵付き書庫に保管、外部持ち出し厳禁とさせていただいております。 ・データに関しては、専門のクラウドサーバー上のみで管理を行っております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		1	・必要に応じて、絵や文字での視覚情報を利用している。	・状況に応じて伝達手段を複数使用させていただいております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	7	1		・当センターでは、在園児のほとんどが園との並行通園のため、行事自体を実施しておりません。その分、療育時間に充てさせていただいておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12			・職員の入れ替え時に情報提供が遅れる事があるため、早めに行う。 ・実践して話し合うことができていた。 ・避難訓練は月1で行っている。 ・マニュアルを個々に配布してもらえると各自確認ができるのをお願いしたい。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12				・上記の通り、想定を変えて毎月実施しております。

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	1	・予防接種の更新情報が確認できていない。	・通所開始時に確認させていただいていますが、個別懇談でも同様に確認させていただきます。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		・卵・ごまアレルギーなど、保育者が細心の注意を払って対応している。	・通所開始時に、医師より指示書をいただくようにしています。 ・また、アレルギー対応につきましても、厳密な手続きに沿って実施しております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		1		・ヒヤリハット・事故に関しては報告書の提出を義務付けておりますので、それを事例集として綴っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	3	・雇用形態によっては受ける機会がない。	・虐待防止研修は毎年実施しておりますが、職員全体で受講できるよう今年度から調整しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11		1		・身体拘束については原則禁止としていますが、本人・他のお子さんの安全が確保できない可能性がある際には、事前に保護者へお伝えし了承を得ております。 ・身体拘束が必要な状況の改善は迅速に行っており、個別支援計画に記載する前に改善しているため、経過等については詳細に保護者に報告させていただいています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。